

記録と記憶—歴史資料を守るために— 愛媛資料ネット

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3愛媛大学法文学部日本史研究室 TEL089-927-9312 <https://snet.ll.ehime-u.ac.jp/>

2026
12 Jan.
in KOCHI

2025年の活動①

史跡の防災を考える「えひめ文化財防災対策研修会」

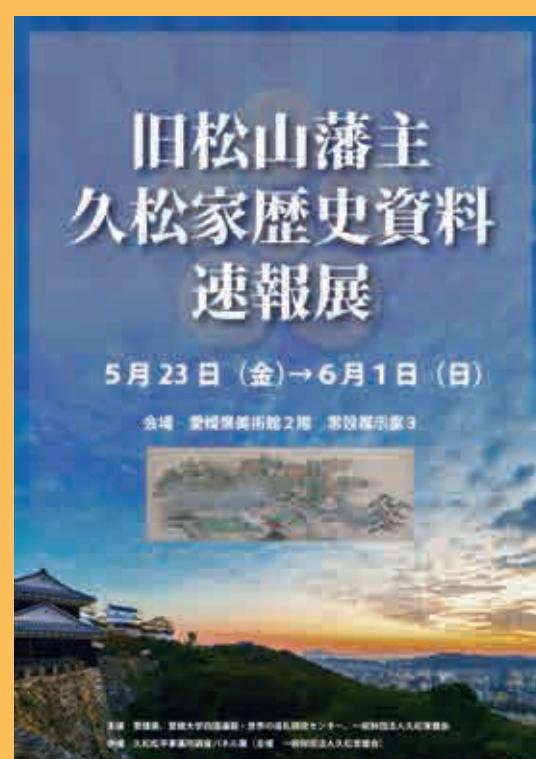


2024年7月の大雨による松山城斜面崩壊
(2024年7月24日撮影)

9月5日（金）に、愛媛資料ネット・愛媛県教育委員会文化財保護課（えひめ文化財等防災ネットワーク事務局）主催で「えひめ文化財防災対策研修会」を開催しました。愛媛資料ネット会員・えひめ文化財等防災ネットワーク構成団体関係者（愛媛県教育委員会、市町文化財保護行政担当部局、愛媛大学法文学部、愛媛資料ネット、愛媛県建築士会、愛媛県博物館協会）、国立文化財機構文化財防災センターなど約56名にご参加いただきました。今回の研修会では、2024年7月の大雨による国史跡「松山城」の斜面崩壊など、近年、自然災害等により石垣の崩落や植物など記念物の被災が多くみられるため、実際に松山城での被災状況を見学するとともに、乗岡実氏（元岡山市教育委員会）「近世城郭と災害－備前岡山城の歴史に学び石垣復旧を考える－」、江崎次夫氏（愛媛大学名誉教授）「史跡地の防災・減災対策を考える」の講演を実施しました。愛媛資料ネットも構成団体となっている「えひめ文化財等防災ネットワーク」では今後も年1回、開催していく予定です。

2025年の活動②

旧松山藩主久松家 資料の調査・整理の成果を公開



旧松山藩主久松家歴史資料速報展
広報用チラシ



旧松山藩主の久松家が長年保管してきた歴史資料約1万6000点（松山城に関する絵図や徳川家康が送った書状など、藩の歴史をひもとく重要な資料が含まれる膨大なコレクション）について約5年にわたり胡光（愛媛資料ネット代表・愛媛大学）を中心に、愛媛大学内にて学生・愛媛資料ネット会員等が参加し、整理・調査が実施されました。この度、そのコレクションが愛媛県に寄贈されることになり、愛媛大学、愛媛県、一般財団法人久松常盤会の主催で「旧松山藩主久松家歴史資料速報展」を5月23日から6月1日まで愛媛県美術館で展示公開し、新聞、テレビ等でも大きく報道されました。



展示会場の様子
(愛媛県美術館)

災害史を活かす

津波避難まち歩き 南海トラフ地震・津波に備える

愛媛資料ネットでは、被災史料等のレスキューとともに、愛媛県内での過去の災害に関する歴史、伝承についての調査・研究を進めています。特に南海トラフ地震・津波については、愛媛県南予地方の沿岸部では、1707年宝永地震、1854年安政南海地震、1946年昭和南海地震により、建物の倒壊、津波による浸水被害を受けています。地域での災害履歴を基にして、近い将来発生が予想される南海トラフ地震・津波への防災・減災につなげるため宇和島市、八幡浜市において、愛媛大学が主催したり、大本敬久（愛媛資料ネット委員）から社会福祉協議会、NPO団体、教育委員会等の機関・団体に対し主催を呼びかけ、市民対象の「津波避難まち歩き」を実施しています。2024年11月には愛媛大学主催で八幡浜市開催。約30名が参加し、まち歩きの後には防災の課題・解決策を考えるワークショップも行い、対話型・合意形成型の市民防災イベントとしてのプログラム開発を進めています。



2024年8月 宇和島市での津波避難まち歩き



2024年8月 八幡浜市社協主催のまち歩き



2024年11月 八幡浜市まち歩き+防災WS

被災からの復興

西日本豪雨で被災した酒蔵を活かしたイベント開催

2018年7月の西日本豪雨では西予市野村町の酒蔵会社・緒方酒造が140cmの浸水被害を受け、廃業を余儀なくされました。江戸時代中期から続く老舗で、酒蔵は棟札から1830年代（天保年間）の建築と推定されています。酒造は廃業したものの、酒蔵については緒方家が私費で修復をし、地域住民の交流拠点施設として使用をしてほしいということで、各種イベントを開催する会場として利活用されることになりました。2023年からは大本敬久（愛媛資料ネット委員）がコーディネート役として地元の老人クラブ連合会、野村町史談会、予土歴史文化研究会野村支部と協力しながら地域の歴史関係の講座を開催する「野村の地域文化をつなぐ会」を立ち上げ、現在、2ヶ月に1度、地域の歴史や復興に関する講座等のイベントをこの酒蔵で行っています。毎回数十人の参加があり、それまでは私企業の酒蔵には住民も入ることはできなかったのですが、地域の文化遺産でもある建造物をリノベーションして、住民間の結集をはかるパブリックスペースとして再生しています。2025年10月には野村地域の生業のシンボルであるシルク・養蚕に関するテーマとして、地元野村シルク博物館館長に講演をしていただきました。



旧緒方酒造での講座開催

【ポスター作成】大本敬久（愛媛資料ネット委員／愛媛大学地域協働推進機構特定准教授）

Facebook:takahisa.oomoto E-mail:oomoto.takahisa.fk@ehime-u.ac.jp